

# 卒業後調査 実施結果報告（2019年度：抜粋版）

立教大学では2019年度より、本学の教育およびキャリア支援のさらなる充実を図るため、卒業後調査を開始しました。今回は189名の方から回答をいただくことができました。ご協力いただきました皆さまには心より感謝申し上げます。以下に概要をご報告いたします。

## 調査概要および回答者の属性

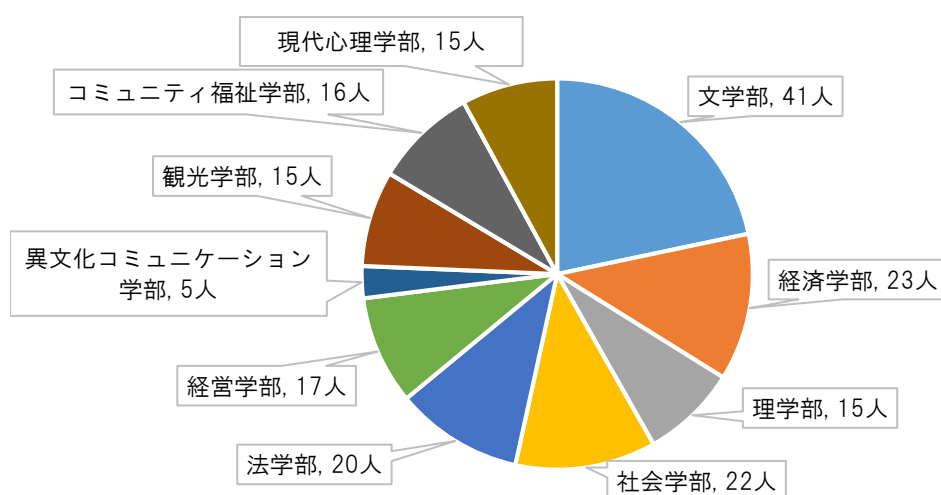
調査対象：本学を卒業してから5年を経過した、2014年卒4,385名の卒業生の方

調査方法：校友会登録のメールにて依頼を送付し、Web上にて調査回答をお願いいたしました。

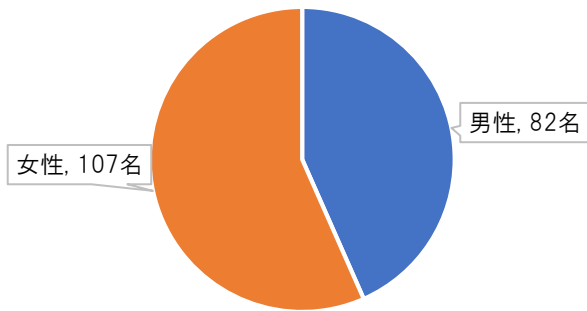
実施時期：2019年7月24日～8月8日

回答者数：189名（回答率4.3%）

すべての学部の方から回答を得ることができました。



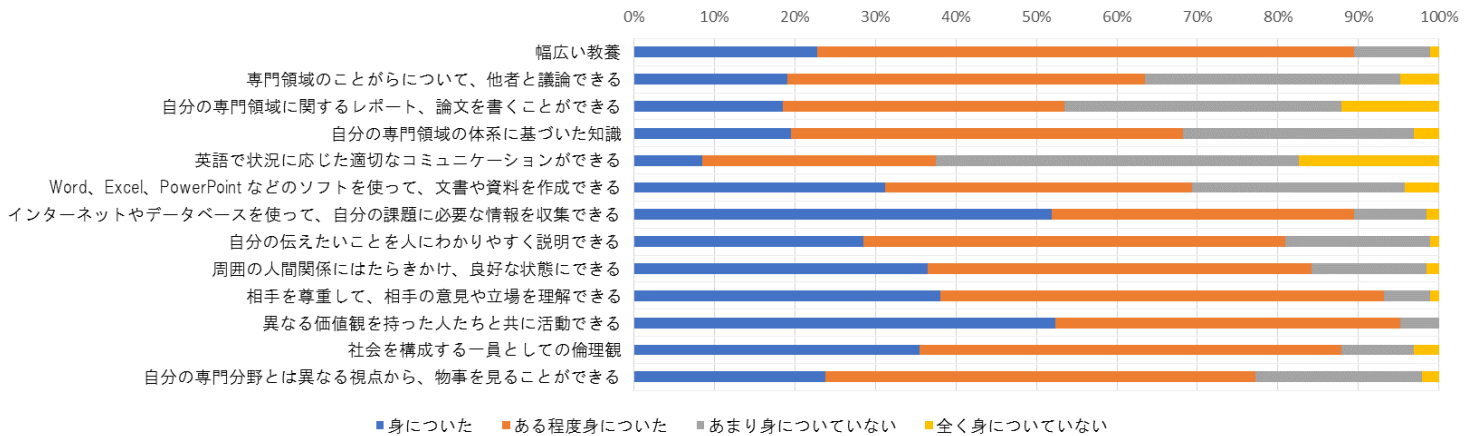
## 性別回答数



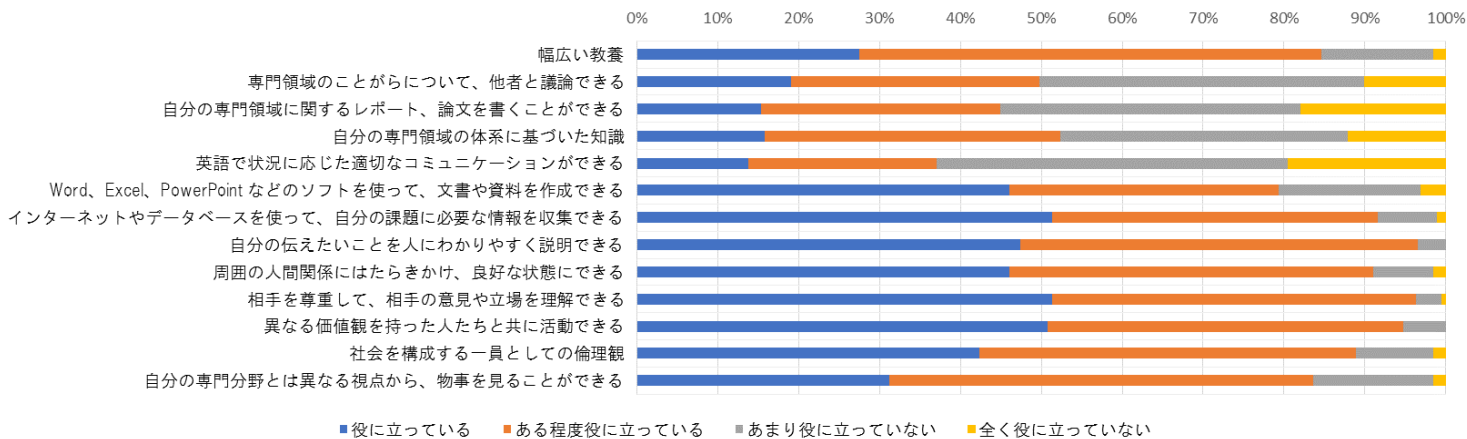
## 在学中の学びについて

在学中「身についたこと」と「現在どの程度役立っているか」の回答傾向はほぼ一致しています。卒業後から即戦力となるようなスキルに関しては、情報収集の評価が高かった一方で、語学力や専門知識・理解、PCによる文書作成などに課題のある結果となりました。

以下の項目それぞれについて立教大学在学中にどの程度身についたと思うか (n=189)



立教大学在学中に学んだことは、今現在の仕事や生活にどの程度役に立っていると思うか (n=189)



## 自由記述より

### ★大学時代にもっと学んでおいたほうがよかったと思うこと

「英語や留学などの他言語に触れること」「英語を使ったコミュニケーション」など語学関連が 75 件、「将来のキャリアを見据えた上での高い専門性のある内容」「自分の専門分野について更に真剣に取り組んでおけばよかった」など専門教育関連が 26 件、この他にも統計学など具体的な科目や政治経済などの時事問題を挙げた方もいました。

### ★立教大学で過ごしてよかったと思うこと

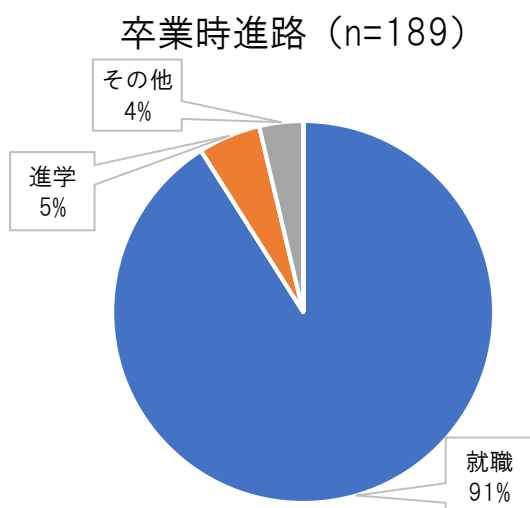
「卒業後も立教の仲間との交流が続いている」「多様なバックグラウンドを持つ学生との触れ合い」友人・人間関係が 37 件、「穏やかな環境で勉学に励むことができた」「アットホームで居心地がよかった」校風・環境について 34 件、「他者を受け入れて相互に理解しあうことができるようになったこと」「異なる価値観を受け入れる、という普遍的な学びが出来たこと」など多様な価値観に関するコメントも 16 件と多く見られました。

### ★他大学出身者と比べて優れていると感じられる点は何ですか。

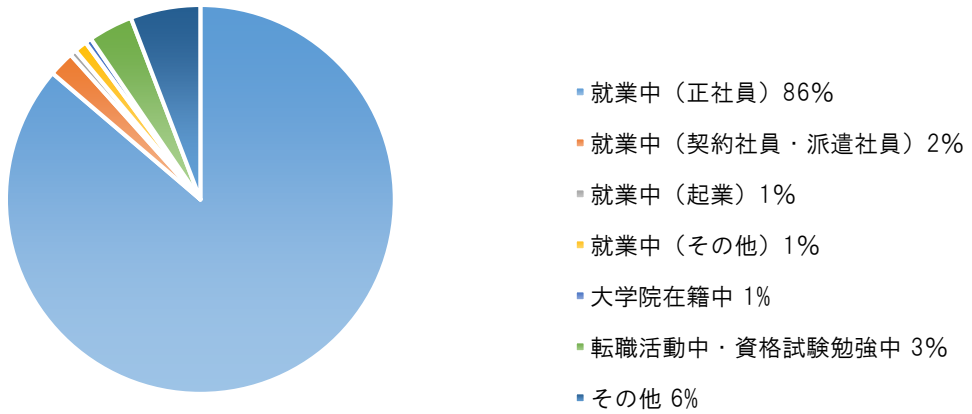
「立場や意見の異なる人に対して寛容で、相手を理解しようとする能力が高いと感じています」「自分本位ではなく、他者を認められる人が多いように感じる」といった寛容性・協調性への意見が 28 件、「人と人をつなげる役割ができる」「人間関係を築くうまさ」などコミュニケーション能力についても 13 件と多く見られました。そのほかにも、「本質的なものを深く考える感性」「与えられたものをやるのではなく、課題を見つけて自ら動く点」といった点を挙げてくださった方もいらっしゃいました。

## キャリアについて

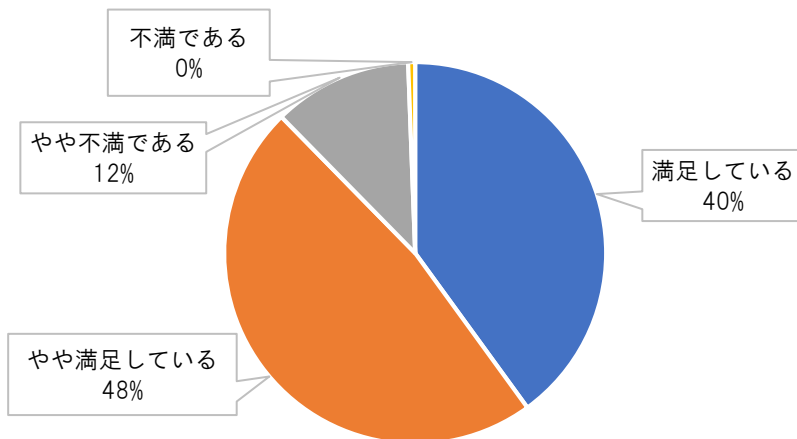
就業に関する問いでは、現在の就業先に対する高い満足度が示されています。また、全体の 4 割の方が転職を経験されており、その多くが 3 年目以降に転職を行っています。今後のキャリア展望においても「転職・独立」に対して肯定的で最多の 4 割近くを占めており、「定年まで勤続」を上回っていました。



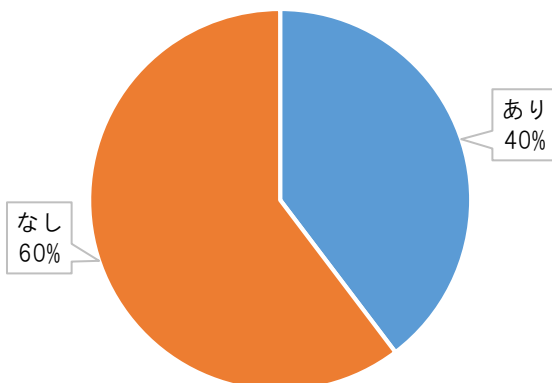
現在の就業状況 (n=189)



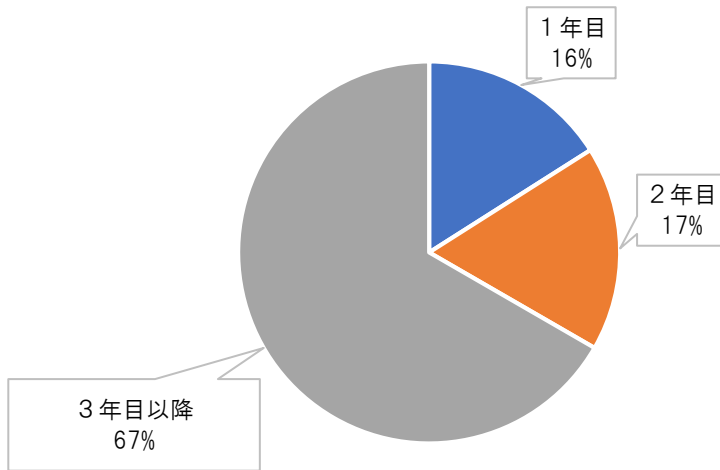
現在の就業先に対する満足度 (n=170)



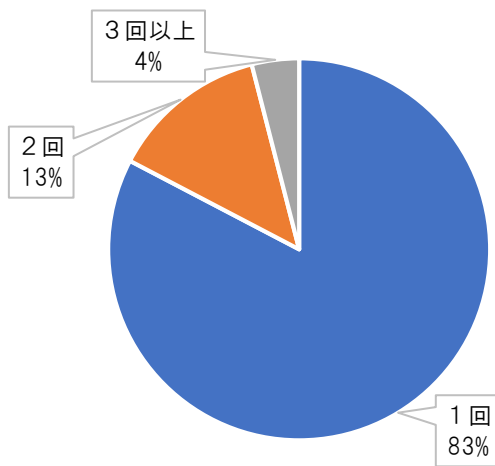
転職経験の有無 (n=189)



初回の転職の時期(n=75)



転職回数 (n=75)



#### ★今後のキャリアについて

「しばらく働いた後、さらなるキャリアアップを求めて転職・独立したい」の選択肢を選んだ方が最も多く39%、次いで「特段のことがない限り定年まで働きたい」が24%、「しばらく働いた後、結婚・育児と仕事を両立できる他の就業先に転職したい」が12%と続きました。

#### 立教大学に対する意見・要望 (抜粋)

調査の最後に自由記述欄を設け、本学に対する様々なご意見・ご要望を頂戴しました。一部を以下に紹介させていただきます。

- ・今後も自由な学府の伝統を守り、学生の自主性に富んだ学びを提供してください。
- ・これからも変わらないレベル教育を行っていただけることを期待しています。

- これからの卒業生にはより高度な専門性が求められることになると思う。資格取得に力を入れたり、特定の分野のスペシャリストを育成するカリキュラムを導入すれば、就職に強くなる。
- とにかく海外へ出ること、立教外へ出ること、立教内で固まる傾向があるけど狭すぎる、キャンパス内が世界ではない、世界は外にある、どんどん外へ実際に出て体験して考えて自ら行動していく必要がある。
- 卒業生へのアンケート等、立教大学や現役の学生への支援等は大歓迎です。また、卒業生としての立場から学生へ卒業後のキャリアや働くということなど語る場のようなものがあればいいと思います。そういった機会があれば可能な限り協力したいと思います。

## 終わりに

あらためまして本調査にご協力いただいた卒業生の皆さまに感謝申し上げます。初回調査ということもあり、設計等至らぬ点もありましたが、頂戴したご意見をもとに次回以降の調査に反映させていきたいと存じます。また、本調査を通して卒業生の皆さまの大学への思い・ご意見を伺えたことは、何にもまして貴重と考えています。本学の教育の更なる発展のためにも、今後ともご協力賜りますことをお願い申し上げます。